

非常電源（低圧で受電する非常電源専用受電設備）試験結果報告書								
試験実施日 年 月 日								
試験実施者								
住 所								
氏 名								
消防用設備等の別								
使 用 区 分		消防用設備等のみに使用（ ）						
		その他と共用（ ）						
受 電 方 式		Φ W V			Φ W V			
主 開 閉 器		定 格 電 圧 V			定 格 電 圧 V			
		定 格 電 流 A			定 格 電 流 A			
試 験 項 目				種 別 ・ 容 量 等 の 内 容			結 果	
外 観 試 験	設 置 場 所 等							
	構 造 ・ 性 能		——					
	保有距離 〔m〕	保有距離を確保しなければならない機器等の部分		操 作 面 (前 面)	点 検 面	屋外・屋上で建築物 と相対する面	—	
		一 種 耐 熱 形 配 電 盤 等						
		二 種 耐 熱 形 配 電 盤 等						
		一 般 形 配 電 盤 等						
	設置方法	分 岐 方 法		——				
		結 線 ・ 接 続		——				
表 示		——						
耐 震 措 置		——						
配 電 盤 等 の 機 器		——						
配 線		——						

試 験 項 目		種 別 ・ 容 量 等 の 内 容	結 果
機 能 試 験	接 地 抵 抗 試 験		(接地工事の種類) 種接地工事 Ω
	*絶縁抵抗試験	充 電 部 相 互 間	$M\Omega$
		充 電 部 と 外 箱 間	$M\Omega$
備 考	試験実施者が有している資格：		

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A 4とすること。
- 2 選択肢のある欄は、該当する事項を○印で囲むこと。
- 3 使用区分の（ ）書きは、共用している設備名を記入すること。
- 4 結果の欄には、良否を記入すること。
- 5 *印の試験は、「配電盤及び分電盤の基準」（昭和56年消防庁告示第10号）に適合している旨の表示が付されているものにあつては、当該設備に係る部分について省略することができる。